

「供給力」

エネルギーの自由化環境下において、安定供給を図るためには、短期及び長期にわたり供給区域全体で十分な予備力を有して需給がバランスする必要がありますが、その需要に見合った発電できる最大電力のことを指します。

供給力の提供価値は下表に示す通りであり、さまざまなビジネスモデル展開の可能性を持っています。

提供価値	ビジネスモデル		
	DR		逆潮流
	下げDR	上げDR	
供給力 (kWh)	<ul style="list-style-type: none"> 小売電気事業者の経済DR（制電力市場等での他BGとの取引も含む） 小売電気事業者のインバランス回避 	<ul style="list-style-type: none"> 制電力市場の価格が安い時間帯に需要をシフト（再エネ抑制が起こっている時間帯では抑制回避にも活用可能） 	<ul style="list-style-type: none"> 制電力市場の価格が高い時間帯に逆潮流分を増加
予備力 (kW, kWh)	<ul style="list-style-type: none"> 電源 I ※1 で抑制量を提供 	<ul style="list-style-type: none"> - 	<ul style="list-style-type: none"> 電源 I ※2 や容量市場※3 において、逆潮流分をアグリゲートして提供
調整力 (ΔkW, kWh)	<ul style="list-style-type: none"> 需給調整市場で抑制量を提供 	<ul style="list-style-type: none"> - ※4 	<ul style="list-style-type: none"> 需給調整市場において、逆潮流分をアグリゲートして提供※2

※1 将来的には容量市場に移行する予定

※3 容量市場は2024年度開設予定

※2 現在のところ、逆潮流分のアグリゲーションによる参入は想定されていない

※4 現在のところ、下げ調整力についてΔkWをあらかじめ市場で調達する必要性はないと整理されている